

日本ペイントホールディングス株式会社
第 201 回 定時株主総会 質疑応答要旨
(2026 年 3 月 27 日)

Q1	世界情勢の不安定化（中東情勢、石油供給不安等）への対応を教えてください。
A1	日々変動する情勢下、トップメーカーとして供給責任を果たすべく、製品の安定供給と適正価値の維持に努めている。在庫積み増し等の対応を実施し、今後も状況を注視しながら顧客・ステークホルダーと協力し、責任を全うしていく。

Q2	個人株主の比率について、今後増やす方針や適正比率・目標を教えてください。
A2	株式分割等により個人株主は大幅に増加した。株主平等の原則から個人株主のみの優遇はしないが、説明会やウェブサイトの充実等で対応している。当社の株主は、外国法人や機関投資家も多いが、個人・機関投資家問わず「日本ペイントファン」を増やし、業績向上を通じて「株主価値最大化（MSV）」を目指す。

Q3	中東情勢の長期化が業績・収益に与える具体的な影響や対応策を教えてください。
A3	影響は地域・製品によって異なるため一概に算出することが困難である。今期の業績予想は中東情勢悪化前に発表したものであるため、今後、具体的な影響額が算出でき、投資家に必要な情報であると判断した場合は適時開示等を行う。アジア地域は中東依存度が高いが、原材料在庫の確保や輸入ルートの多様化を検討し、状況に応じて柔軟に対応していく。

Q4	女子卓球チームの運営について改善願う。
A4	個別事象については詳細を控えるが、ファンからのご意見として受け止める。

以 上